2020 年度事業報告書

2020 年４月１日から 2021 年３月 31 日まで

2021 年６月６日

特定非営利活動法人　イカオ･アコ

１．2020 年度事業報告

1.1 総括

2020 年のイカオ・アコの主な活動実績として、

(1) イオン環境財団、ニチバン株式会社、リコージャパン株式会社から助成金、寄付金をいただき、単年度で 36,441 本、累計で 173 万本の植林を達成した。単年度で植林数が少なくなっている理由は、緑の募金の失注、アストモス株式会社の撤退による。
(2)外務省の日本 NGO 連携無償資金協力(以下、N 連とする)によるイチゴプロジェクトが立ち上がり、アグリツーリズムという新たな価値創造に取り組む。
(3) 2 年間のパナソニック株式会社の NPO/NGO 組織基盤強化支援を受けて、昨年度、中期計画を作成し、今年度、それに沿ったマネジメントが行う素地が整っている。また、マネジメント上の PDCA サイクルがうまく機能しだした。ステークホルダーへのアウトリーチを実現するための仕掛けを模索中である。
(4) ボホールでは、3 年目の積水ハウス株式会社、三井物産環境基金の支援を受け、安全な水の供給を地域や学校に行った。

を挙げることができる。

このコロナ禍や新規事業の展開の準備不足からイカオ・アコの活動が以下のように後退した。

(5) 日本からスタディツアーの参加者とボランティアを獲得できず、さらに日本企業の研修を現地で実施することができなかった。
(6) オーガニックカフェ MIDORI と日本人ボランティアのための国際協力研修センターを一時閉鎖した。それに伴い従業員 3 名を解雇した。
(7) 4 年間実施した有機農業に明確な実績を見いだせないために、事業を中止する。担当の 2 名を解雇した。
(8) ボホール島において、JICA 事業が終了し、2 名体制から 1 名体制とした。従業員 1 名を解雇した。

1.2 事業の実施に関する事項

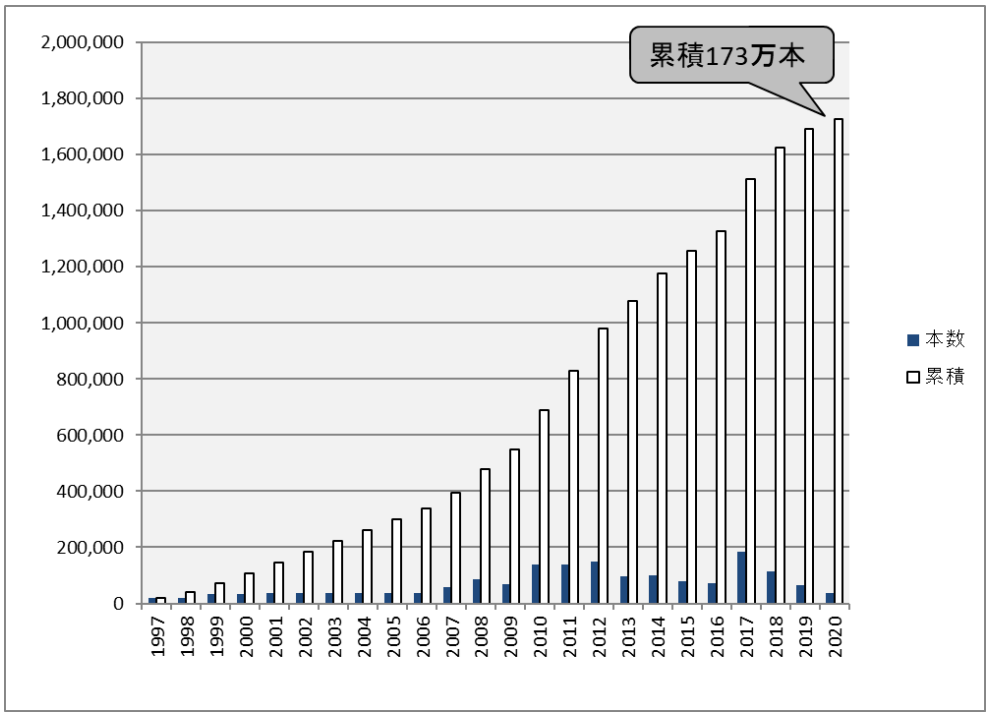
(1) 特定非営利活動に係る事業

助成事業として、主に以下の 5 本を実施した。

① 「農家の生計向上を目指す高品質イチゴの観光農園の普及事業」、N 連
② 「マングローブの植林と環境教育－第 1 年次－」、第 29 回イオン環境基金
③ 「雨水のリユースシステム構築による、安全な飲料水と適切な衛生環境を提供する事業」、三井物産環境基金
④ 「小学校に安全な水を提供するための雨水再利用システムの構築プロジェクト」、積水ハウスマッ

チングプログラム
⑤ 「活動の活性化を目指すコレクティブな関係作りと市民参加の促進」、Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs

また、2 件の大口の寄付金と 1 件の助成金を得てマングローブ等の植林を実施し、36,441 本の実績を上げた。
①「ニチバン巻心 ECO プロジェクト」、ニチバン株式会社
②「あすをともす森づくり」、リコージャパン株式会社
③「マングローブの植林と環境教育－第 1 年次－」、イオン環境財団（コロナ禍で環境教育を行わず）



(2) その他の事業に係る活動
このコロナ禍により、その他事業の実施は無い。収入と支出もゼロである。

		2020年度実績と2021年度計画（中期ビジョン2023達成のために）			2021 年～23 年	
事業名	**植林事業**	**農業と6次産業化**	**安全な水供給事業**	**ソーシャルビジネス事業**	**国内活動**	**組織運営**
2020年度の実績	・マングローブ36,441本の植樹、参加者は毎年のべ2,143人 ・バラリンのエコパーク修理 ・スタディツアー、企業研修、パガパットフェスティバルの中止 ・リコーがイカオ・アコの活動を支援	・4年間の有機農業の断念 ・苗供給会社MKP INC.との連携 ・イチゴ事業による栽培本格化	・ボホールで２地域に雨水を活用した給水システムを建設（2年目）	・オーガニックカフェと国際協力研修センターの一時閉鎖 ・フェアトレードも一時停止	・桜丘高校などで特別授業 ・オンラインスタディツアーの企画に参加 ・各種オンライン研修に参加しネットワーク構築 ・ビッグイシューにイカオ・アコの記事 ・泉京垂井との交流	・事務局スタッフの採用 ・理事会メンバーの更新 ・ビジョンシートの作成
中期ビジョン	**植林参加の目的を多様化する**	**「農業で稼ぐ！」モデルを作る**	**安全な水を地域・学校に届ける**	**ソーシャルビジネスを独立採算制にする**	**・SDGsへの取り組みが多くの人々に知られる** **・参加型イベントが不定期に行われる**	**・働きやすい職場環境が整い、活動の支援ができる** **・効果的な会員制度が完成**
3年間の重点活動	・植林事業の見える化の取り組み（植林本数・映像・画像・ツールなど） ・エコパークを活用したエコツーリズムの再構築 ・植林ビジネスの展開（記念植樹・マングローブウェディング・オーナー制度） ・パガパットフェスティバルなどの植林イベントを開催	・専門家現地派遣 ・現地スタッフの本邦研修 ・イチゴの栽培をネグロスの高地に拡散 ・イチゴ農園の観光化	・モデル地区に給水設備を設置しモニタリングを実施 ・省エネルギー・省資源の利水技術をマスター ・他地域に展開できる準備	・ビジネスの専門家の派遣 ・ビジネスパートナー（現地スタッフ）の雇用 ・カフェの移転（研修センターと相乗効果） ・研修センターを学生だけでなく、企業研修の受け皿に	・不定期に会員同士が交流できる場の設置 ・広報に関して①SNSの強化②HPの改訂③広告の活用 ・フェアトレードグッズを発掘し、国内で販売	・会員制度の構築（既存の個人情報の利用、効果的な会員特典、中高生向けの会員制度、入金確認がスムーズにできる管理システムの導入など） ・人事制度・就労規則・研修制度などの整備 ・国内インターン・ボランティア・プロボノの受け入れ ・総会・理事会の定期開催
2021年度の計画	・コロナ禍よりスタディツアー再開が見込めない ・アストモスの支援がCSRとして再開 ・エコパークの修理を継続（橋・タワー・看板など） ・植林に資する寄付モデルの構築	・イチゴの生産性を日本水準に接近（1.5ｔ/10a） ・観光化促進のため、加工場の建設 ・温室６棟の追加建設 ・ハイポネックスジャパンとの連携模索	・ボホール2地域に安全な水を届ける ・関係者が参考にできるマニュアルの作成、SNSで資金等を得るための広報の作成 ・社会的インパクト評価の実施	・自前の研修センターの新規建設のため、取得した土地の有効活用の検討	・FacebookとSyncableが連携した寄付システムの構築 ・HP、SNSの改良	・年間の個人寄付が合計XX万円 ・情報基盤の整備（Microsoft365導入） ・国際的なネットワーク形成の準備

1.2 会議の開催に関する事項

（1）総会

① 開催日時及び場所

2020 年 6 月 25 日 19:00～20:00　オンライン

② 議題

・2019 年度活動報告

・2019 年度会計報告

・会計監査報告

・2020 年度事業計画・

（2）理事会

① 第 1 回理事会

・開催日時及び場所　2020 年 10 月 11 日 19:00～20:00 オンライン

・議題

2020 年度事業進捗について

② 第 2 回理事会

・開催日時及び場所　2020 年 12 月 6 日 19:00～20:00 オンライン

・議題

2020 年度事業進捗について

② 第 3 回理事会

・開催日時及び場所　2021 年 2 月 13 日 19:00～20:00 オンライン

・議題

2020 年度事業進捗について

② 第 4 回理事会

・開催日時及び場所　2021 年 2 月 28 日 19:00～20:00 オンライン

・議題

2020 年度事業進捗について